

用語集

ADA

American with Disabilities Act の略。アメリカ障害者条例。

Adapted P.E.

身体的に通常の体育の授業についていけない就学児童用体育補習授業。

Adaptive

適応性。食事、トイレ、衣服の着脱のような日常生活を行う自立能力。

Adaptive Equipment

身体障害者用補助装具

ADD

Attention Deficit Disorder の略。注意欠陥障害。

ADHD

Attention Deficit Hyperactive Disorder の略。注意欠陥・多動性障害。

Adult Development Center

成人障害者用、身辺の世話やコミュニケーション、技術訓練をする場所。

Advocacy

擁護・主張。権利を知り、要求事項を適切に主張し、より効率良く主張内容を獲得していくための言動の総称。advocate は動詞。

After School Program

共稼ぎの家庭の子女を対象とした放課後のプログラムの事で、学校と地域の公的機関が協力したり、学校自らプログラムを用意したりしている。

Aide

エイド＝助手。学校では先生の助手 (Teacher's Aide) で病院では看護のヘルプ (Nurse's Aide) などがいる。

APD

Auditory Processing Disorder の略。聴覚処理障害

Aphasia

失語症。

Appeal

上訴・請求・控訴などの意味で、学校区や担当機関からこちらの要請を断られた時など、諮問機関に対して審理請求を行う事。

Assessment

評価・診断。障害者レベルの能力、ニーズなどを査定・評価・診断する。

Assistive Technology

障害者が障害の部分を幾らかでも緩和し正常に近づけるための工夫された技術。

例: 補聴器、手話、コミュニケーション・ボード、コンピューターなど。

ARC

Association Retarded Citizens の略。知的障害者協会。

At Risk

将来、学習や成長に影響を及ぼす顔知れない、発育上の問題を持つ子供に対する忠告。

Audiologist

聴覚専門医

Audiology

聴覚サービス。聴力を損傷した子供の確認と、聴力損失および聴力損失を予防するサービスを提供すること。

Autism

自閉症

Behavioral Modification

行動修正。

Behavioral Problem

行動障害、あまり反抗的な態度なども入る。

BOCES

Board of Cooperative Educational Services の略。教育サービス共同局。

Braille

点字

Chromosomal Disorder

染色体異常。

Cognitive

認識力。記憶力、判断力、理解力、そして判断力に至る過程を示す言葉。ITP などのミーティングで良く使われる。

Community Based Instruction (CBI)

日常生活技術を居住するコミュニティの中で身につけるべく、バスに乗ったり、買い物をしたりと教室ではなく実際に外に出て訓練する教育法。

Competitive Employment

障害者が健常者にまじって特別な保護や援助を受けずに就労する。通常の就労形態。

Confidentiality

機密性。子供と家族についての個人情報、親の同意または法による請求や許可なしには公開されない権利。

Consent

同意。親が郡の計画や公文書に賛成すること。同意は常に任意であり、親はいつでもそれを取り消すことができる。

Conservatorship

後見人制度。18 歳をすぎた重度障害者で自身で決断する能力がない場合、本人に代わって後見人が決断する権利を有する制度で法廷の承認が必要。

CP

Cerebral Palsy の略。脳性まひ。

CPSE

Committee on Preschool Special Education の略。就学前特別教育委員会。3 歳から 5 歳が対象。

CSE

Committee on Special Education の略。特別教育委員会。6 歳から 21 歳が対象。

Daycare

乳幼児対象の保育機関の総称で保育園や幼稚園とは違い、デイケアはシステム化されたアカデミックな授業より、世話・面倒を見ることに重点を置いているので、預かり時間も長い。午前中はプリスクールで午後からはデイケア-的内容の保育園も多い。

Developmental Disabilities

発達障害。知的障害と、知的障害の可能性を含む障害、例えば自閉症、てんかん、脳性まひなどの障害の総称。

Developmental Delay

発達遅滞。子供の年齢を基準として期待される発育レベルに到達していない兆候。

Developmental History

発育経歴。座る、歩く、しゃべるといった能力の発育上の進歩。

Developmental Test

発育テスト。同じ年齢のほかの子供たちの発育と比較した子供の発育測定。

Disability

障害。子供が発育上の遅れを持っているがために生じた、身体的または精神的な発育の送れ。

Due Process

学校や福祉機関の決定に不服の場合に、個人の権利を擁護して对学校・機関に訴える法的手続き。

Dyslexia

識字障害。代表的な学習障害(LD)。

EHA

The Education of All Handicapped Children's Act (=PL94-142)の略。障害児とその親の権利を守る連邦法。

Early Intervention

早期介入プログラム。

Early Intervention Services

早期介入サービス。教育は家族別サービスプラン(IFSP)を通して、その子供の家族のニーズにあった適任者によって施される。これらのサービスは可能な限り自然な環境の中で、親のもとで行われる。

Early Intervention Official

早期介入担当者。早期介入サービスに責任を持つものとして、郡またはニューヨーク市によって選ばれた人。

Eligibility Requirements

適応必要条件。子供が臓器介入サービスを受けるために満たさなければならない条件。これは年齢上の条件や、子供に障害または発育上の遅れがあるかどうかを含む。

EMR

Educable Mentally Retarded の略で教育可能な軽度の知的障害(IQ で50~70)。

Epilepsy

てんかん

Estate Planning

財産計画

Evaluation

評価・審査・診断のためにいろいろな角度から行われるテストの総称。

Exceptional

特別という意味で、Disable や Handicap の持つマイナスのイメージを消し、障害をもっとポジティブに見る発想から生まれた表現で Exceptional Children (People)などと表現する。

Family Assessment

家族評価。家族の関心事、優先権、援助に関する情報を集め、確認するための過程。

Family Concerns

家族の関心事。家族別サービスプラン(IFSP)に申請したい要求や論点、または問題を親が確認できる。

Family Priorities

家族の優先権。早期介入サービスによって子供や家族が実現すべき主要な目標を、親が選ぶことができる。

Family Resources

家族の援助。家族の関心事や要求、望むべき成果が何かを訴えるために動員される力や能力、内外共の支援。

Family Training

ファミリートレーニング。子供の特別な要求を理解したり、子供の発育を促進するに当たって、家族を支援して売れるのに適した担当者によって行われるサービス。

FAPE

Free, Appropriate Public Education の略で障害児教育法(EHA=PL94-142)の中で保障されている“全ての障害児に無料で適切な公立教育が与えられる”権利。

Fine Motor Skill

末端筋肉(指や腕関節)の活用能力。はさみ使い、字を書く、ぬり絵、ボタンはめ、くつひも結びなどの能力。

Full Inclusion

一般児と同じクラスで学習すること。内容的には助手をつけたり、特別な学習内容を取り入れることが出来る。

Gross Motor Skill

粗大筋肉の運動能力、歩行、バランス、ジャンプや走る能力。

Group Home

コミュニティーの中で、複数の障害者がある程度のサポートを管理者から得ながら共同生活を行う家、またはアパート。

Guardian

保護者の総称で親を含む。子どもが18歳までは本人ではなく、この Guardian が法的義務と権利を有する。

Hard of Hearing

難聴

Hearing Impaired

聴覚障害者

High Risk

リスクが高いという意味で、はっきり診断がついていない乳幼児などで将来障害の可能性が高い場合や、障害児を産む可能性の高い妊婦などに使われる。

HMO

Health Maintenance Organization の略。健康扶助期間。

Home Visits

家庭訪問。早期介入サービスを計画し、提供する目的で、専門家が家庭を訪問する。

ICHAP

Infant/Child Health Assessment Program の略。幼児・児童健康評価プログラム。

IDEA

The Individuals with Disabilities Education Act(PL101-476)=障害児教育条例の略。

IEP

Individual Educational Planning の略で、学区の担当者や先生たちと年に1回子どものむこう1年間の教育計画を話し合い、文書化したもの。

IFSP

Individualized Family Service Plan の略。家族別サービスプラン。早期介入プログラム(EIP)によって子供と家族にサービスするためのプラン。このプログラムは適任者と早期介入担当者(EIO)チームとともに家族が発展するためのもの。

Independent Living

自立生活。

Individual Supported Job

障害者1人1人にコーチ(Job Coach)が付き、一般の職場で仕事に必要な技術を教え込んでいく就労形態。

Informed Consent

治療、プログラム、セラピー、検査方法などに対し、リスクや結果、他の方法などの説明を十分に受け、納得した上で承認すること。

Intake

受付。福祉機関などでまず、最初に話したり、会ったりする担当者のことをインテイク・コーディネーターと呼ぶ場合がある。

Integration (=Partial Inclusion)

特殊クラスに在籍しながら、一部の教科を一般児と同じクラスで学習する。学習内容は特別なアレンジが可能。

Interdisciplinary Term

対象児(者)の状態を良く認識している専門家たちと親の集まりで、チームとして互いに協力し合い IPP などの計画を立てる。

Interim IFSP

臨時家族別サービスプラン。子供と家族が明らかに早急の早期介入サービスを必要とするとき、IFSP は子供と家族が一時的に早期介入サービスを受けることを許可することができる。それは評価が完了していなくても子供をプログラムに照らし合わせれば可能である。

Impartial Hearing

公正な公聴会。子供の評価や IFSP、またはその他の論点に関する不満を解決してくれる審問委員によって、家族の苦情を訴えられる正式な方法。

Kindergarten

幼稚園の事で、5 歳からの義務教育の始まり。私立ではデイケアと保育園と幼稚園を一緒に経営しているところも多く、子どもによっては、そのまま幼稚園まで同じ園にいれ、小学校 1 年から公立に入学するケースも多い。

Lead Agency

指導局。州知事は早期介入サービスを監督、調整するために選ばれている。保健課はニューヨークでは早期介入のための指導局である。

Legally Blind

全盲、またはそれに近い視機能(盲)。全盲は Totally Blind。

LEICC

Locally Early Intervention Coordinating Council の略。地方早期介入調整委員会。

LEP

Limited English Proficiency の略で、会話、読書、作文、理解などの分野で、英語能力に限界があること。

LD

Learning Disability の略。学習障害。知的障害はないにも関わらず、何らかの病理学的理由(識字障害=ディスレキシア、ADHD など)により、学習が阻害される障害。

LRE

Least Restricted Environment＝最低限隔離された環境という意味で、障害児教育法(PL94-142)の中で保障されている“障害児も一般の子どもたちと同じ環境で学ぶことができる”選択の権利。

LCSW/LMSWCertified

Social Worker の略。公認ソーシャルワーカー。

Mainstreaming

普通学級に在籍し、基本的に一般児と共に特別補助を受けずに学習するが、週に何時間か一定の時間、リソースルームで学習する。

Mediation

調停。意見の相違を解決する方法として、問題を解決する力を訓練された人を使う。調停するにあたり、親と早期介入担当者の双方が満足を得られるよう努める。

Medicaid

連邦レベルで使われる医療保護保険の総称

Medi-Care

高齢者用医療保険

Mental Retardation (MR)

知的障害。

Minimal Brain Dysfunction

微細脳機能不全。

MULTIPLE DISABILITIES

重複障害

Multidisciplinary

多角的な。評価や査定、IFSP の進展を含む早期介入サービスの実地において、ほかの地域で訓練を受けた二人以上の専門家を含めること。

NICU

Neonatal Intensive Care Unit の略で、新生児集中治療室。

Nonverbal Communication

言語を使わず、表情や身体の動き、音などでメッセージを伝えるコミュニケーション方法。

Nursing Services

看護サービス。看護サービスを提供する目的で子供の健康状態の査定し、健康問題の予防のためや、機能の回復、そして最良の健康と発育を促進するために看護サービスを提供する。これは薬物療法や治療、またはライセンスのある医者による処方も含まれている。

Nutritional Services

栄養食サービス。食べる上での能力や問題、また食べる習慣や好き嫌いを確認して子供に必要な栄養食品を申し込むサービス。

Objectives

達成目標の事で、IEP などの文章に各項目別目標が決められる。

OPWDD

Office for People with Developmental Disabilities の略。NY 州の知的障害者および発育障害者のための事務所。

Orthopedically Impaired

整形外科系障害者

O.T.

Occupational Therapy、または Therapist の略。作業療法(士)。

Outcomes

成果。親が子供や家族に望んでいた進歩の報告。これらの報告は IFSP の一部である。

P&I

Personal and Incidental の略。SSI の支給額の名目の一部で、私物経費に使う。

PASS

Plan for Achieving Self Support の略。SSI の労働奨励項目 (Work Incentive) の一項目で、将来のある目的のために貯蓄し、その金額分を収入査定から控除できる。

Pendency

継続。子供と家族がほかの地域に引っ越したり、意見の不一致が解決されるまでの間も現行の IFSP を含めた早期介入サービスを続けて受けることが認められる権利。

Perceptual Disability

知覚障害。Perception は感覚からの情報を正確に認識する能力—知覚。

Personally Identifiable Information

個人確認情報。家族の名前や社会保障番号、住所やそのほか家族であることを証明できる情報。

Placement

学校で使われる場合は、子どものクラスわけの意味。

Postsecondary Education

高校卒業後の教育の事で、大学やコミュニティーカレッジ、専門学校などを指す。

Preschool

プリスクール／保育園の事で通常3・4・5歳児対象。

Primary Language

第一国語。家庭で使われる言語。

Psychological Services

心理的サービス。子供の修正や、子供と家族の学習、精神健康、発育などの状態について心理学テストを行い分析すること。それがカウンセリングや鑑定、親の教育プログラムを含むサービスプラン通りにうまくいっているかを見る。

P.T.

Physical Therapy、または Therapist の略。理学療法(士)。

Pull Out

通常の授業時間に対象児をクラスから出して、特別な授業(多くの場合、リソースルームで)を行うことがあるが、その引き出す事をプル・アウトという。

Qualified Personnel

適任者。免許や証明を持ち、また登録されている者で早期介入サービスを提供することが認められている個人。

Related Services

学校で障害児用に提供されるサービスで、クラス内で行われる普通教師や特殊教育教師による授業以外の関連サービスの総称。スクールバスやセラピー関係、職業訓練、カウンセリングなどを含む。

Resource Specialist

特殊教育の専門家で普通クラスで学ぶサポートが必要な障害児をモニターしながら必要に応じてリソース・ルームを使い特別学習を行う。クラスの教師にアドバイスしながら協力して、子どもの発達を促し、落ちこぼれないように助けていく。フルインクルージョンの子どもには欠かせない存在。

Respite Care

レスピット・ケアとは親を障害児の世話から解放し、休息させる事を目的としたサービスで、障害児に対するベビーシットや、必要に応じてナースにケアを依頼する。リージョナルセンターからの経済援助の一部。

Reverse Mainstreaming

一般児が一部の授業を特殊クラスにきて学習する。

School District

公立学校区。

Screening

審査。子供の発達状態を見極め、どのようなタイプのサービスが必要かを示す手段。

Seizure Disorder

けいれん関連障害。てんかんも含む。

Self Help Skill

自分自身の身の回りを世話をする能力。

Sensory Integration

セラピーの一種で、感覚神経(センサー)の統合(インテグレーション)の正常化を促進・調節すること。

SEPTA

Special Education PTA の略。

Service Model Options

早期介入プログラムが子供と家族に提供される方法。

- ・家庭や共同体にいる個人を訪問する場合は、家や別の自然な環境の中で子供や家族を一对一で訪問することができる。
- ・施設にいる個人を訪問する場合には、早期介入プログラムの教育施設の中で子供や家族に一对一でサービスを行うことができる。
- ・親子のグループの場合は、早期介入プログラムの教育施設、または生活に密着した共同体施設のどちらかでサービスを受けることができる。
- ・発育介入のグループの場合は、共同体の施設、または早期介入プログラムの施設のどちらかで子供や家族にサービスを行うことができる。
- ・家族支援グループのは愛は、障害を持つ子供の発育促進のために、その両親や兄弟、またそれ以外の家族がサービスや訓練を受けることができる。

SMR

Severely Mentally Retarded の略。重度知的障害者。EMR や TMR に対して使われる。

Sheltered Employment (workshop)

職業関連の技術訓練や、賃金を受けての仕事を障害者専用のワークショップで行う就労形態。

Sign Language

手話。

Socialization/Social Skill

社会性。協調性。

Social Worker Services

社会福祉サービス。子供や家族の社会的、精神的な力や要求が何であるかを分析して準備する。そして個人やグループにカウンセリングやトレーニングといったサービスを供給する。

Special Education

特別支援教育のこと。

Special Instruction

特別支援教育(EI・CPSE)。子供の発育を促進する学習環境や活動の計画を立てる。そして情報や技術を家族に提供し、子供の発育を高める手助けをする。

Special Needs

特別なヘルプを必要とされるもの。障害がはっきりわからない、またはわかっている場合も含めて、特別な教育や治療を必要とする子供・大人をさして言う用語。

Speech & Language Pathologist

言語病理学者。

Speech & Language Pathology

言語病理学。コミュニケーション能力の遅れや、口周囲の筋肉の弱さや飲み込む力の弱さゆえに運動能力に遅れが見られる子供に対して行われるサービス。

Spina Bifida

二分脊椎。

Spinal Cord Injury

脊椎の外傷。

SSDI

Social Security Disability Insurance の略。普通の労働者が自身の所得から、ソーシャル・セキュリティ税を長年にわたって支払い、その後、短期・長期に身体的障害がはじまり、労働が不可能になった場合、その期間のみ支払われる社会保障金。

SSI

Supplemental Security Income の略。生活保障補助金の事で、ほとんどの18歳以上の障害者がこの対象になる。

S.T.

Speech Therapy または、Therapist の略。言語療法(または療法士)。

Stuttering

吃音。

Supported Employment

障害者が特別のサポートを得ながら、コミュニティー内の職場で健常者の中にまじって賃金を受け働く就労形態。

Supported Living

ある程度の介護や援助を福祉機関や周りの人たちから受けながら、親元からはなれ、自立生活をする事。

Surrogate Parent

代理父母。子供を早期介入プログラムに参加させることを決心できないでいる親に代わって実行するように指名された人。両親は任意で代理父母を指名できる。

TDD

Telecommunication Devices for the Deaf の略。聴覚障害者用の電話。

TMR/TMH

Trainable Mentally Retarded の略。ある程度の訓練が可能な中度の知的障害 (IQ で30~50)。

Transition

移行。子供が満3歳になると、早期介入サービスから就学前特別教育プログラム、または別の幼児支援やサービスに移行する。14歳~22歳の時期に将来の進路や可能性を考え、緻密な計画を立てる時期で、変換期。

Transportation

送迎サービス。スクールバスなど。EI、SPSE では必要な交通費を支給または返済される。

Traumatic Brain Injury

脳の外傷。

Vision Services

視覚サービス。視力の混乱や遅れのある子供を確認し、彼らにサービスやトレーニングを施すこと。

Visually Impaired

視覚障害者。

Vocational Training

職業訓練。

Voice Activated Computer

肢体不自由な障害者用に改良されたコンピュータで声に反応して作動する。

Workshop

障害者用に組織された就労場所で、リハビリテーション局のスタッフなどが障害者の訓練を促しながら、作業をこなす作業所。多少の収入を得ながら通う、成人障害者の一就労形態。